

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。早いもので九月。今年も終盤ですね。だんだんと朝晩は冷え込む日も増えてきます。くれぐれもご自愛ください。

日常会話の中に浸透している仏教用語をお伝えしているかわら版。仏教用語がたくさん定着しているのには驚きます。

九月と言えば台風シーズン。しかし、九月を待たずに台風被害が相次いでいます。最近では地球温暖化の影響で台風の規模も巨大化。台風の備えは大丈夫でしょうか。

さて、この「大丈夫」も仏教用語です。「体調は大丈夫?」「仕事の準備は大丈夫、任せてください」などと、日常用語の中に頻りに登場しますね。

仏教では「丈夫」は「菩薩(ぼさつ)」のことを意味します。菩薩とは人々を救うため、世の中を良くするために、自ら覚りを得ようとしている修行者のことを言います。

仏教典の原語であるサンスクリット語の「マハー・プルシャ」が大丈夫と訳されました。マハーは「偉大な」、プルシャは「人間」。

つまり「偉大な人間」。それが転じて菩薩のことを指すようになりました。

現代語の「大丈夫」は「問題ない」「準備万端」「自信ある」というような意味。それもそのはず、「偉大な人間」ですから何事に対しても大丈夫なはず。

広辞苑によると「とりわけ壮健なこと」「あぶなげのないこと」「間違いのない様」などと書かれており、英語の「ノー・プロブレム」に近い言葉です。

しかし、本来の意味がわかってしまうと逆に「大丈夫、大丈夫」と簡単に言いにくくなり、それが重要で、「何があっても大丈夫」という自信の気持ちとともに、自分が「偉大な人間」などと思わずに、謙虚に対応することが重要です。

仏教が漢語に翻訳された段階では、学識人徳の備わった優れた人を「丈夫」と褒め称え、「丈夫」に「大」がついた「大丈夫」は仏の異名となりました。つまり、「私は大丈夫」という表現は「私は仏。完璧な人間です」という意味になります。

やがて、室町時代ぐらいから「大丈夫なり」という表現が使われるようになり、現代語にながっていききました。

「君、今年の業績は大丈夫か」「社長、大丈夫です」、「こんな天気で出かけて大丈夫かな」「大丈夫だよ、きつと何とかなるよ」等々、社会活動や個人の日常会話の中で頻りに登場する「大丈夫」。これほど「大丈夫」が多用される現代社会は、逆に間違いや自信過剰の多き世の中である証かもしれません。「想定外」とは「大丈夫」に根拠がなかった結果です。

「準備万端、大丈夫」と過信せずに努力を怠らないこと、「健康は大丈夫」と過信せずに暴飲暴食を慎むこと、「人間関係は大丈夫」と過信せずに周りの気持ちを慮ること。「大丈夫」という言葉を使うたびに、「過信せず、謙虚に」ということを思い起こすことが大切です。仏教はそれを教えています。

日常会話の中に浸透している仏教用語。まだまだたくさんあり、知らないことばかり。奥が深いですね。

※

中日文化センター企画 この旅行は下記「中日ツアーズ様」へお問い合わせください。

## 「仏教に親しむ高野山の旅」

～大塚耕平と行く高野山バスツアー～

旅行期日：平成30年10月27日(土)～28日(日) 1泊2日

旅行代金：下記中日ツアーズにお問い合わせください。

1日目	名古屋駅西口 7:20 集合	→〈東名阪・名阪国道・西名阪〉→	高野山	金剛峯寺	蓮華定院
			【昼食】	【拝観】	【夕食・宿泊】
2日目	蓮華定院	→	高野山奥の院	→	中本名玉堂
	【宿泊・朝食】		【参拜】		【買物】
				→	九度山
					真田ミュージアム
					名古屋駅西口 (18:40頃到着)
					→〈西名阪・名阪国道・東名阪〉→

- 最少催行人数 / 30名様
- 食事 / 朝1回、昼2回、夜1回
- 添乗員同行
- バス会社 名鉄観光バス(予定)



弘法大師空海が開いた高野山。今もなお、多くの人々の心を引き付けています。真田幸村縁(ゆかり)の宿坊(蓮華定院)に一泊しつつ、「暮らしの仏教」講座でお伝えしてきた仏教の歴史と教えを振り返り、さらに深い心の安らぎを求めます。

中日文化センター 紀行講座



● お問い合わせ・お申し込みは 観光長官登録旅行業第636号  
**中日ツアーズ** (中日企業株式会社) 電話 052-231-0800  
 〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目5番2号 中日新聞社北館1F  
 営業時間 平日 10:00～18:00 (日・祝日休み) 総合旅行業務取扱監理者 桜井大祐

旅行企画実施